

上海甘泉外國語學校成功舉辦 第六屆“共立杯”中國學生日語演講賽

【本報記者／王旭東報道】2008年度第六屆“共立杯”大、中學生日語演講比賽于10月19日在上海市甘泉外國語中學隆重舉行。這次比賽得到了日本文化科學省、日本共立國際交流講學財團、日本國駐上海總領事、上海市教委、上海市普陀區教育局等單位的大力協助。

此次演講比賽參加對象為中國長三角地區學習日語的大、中學生，他們分別來自上海交通大學、上海外國語大學等九所大學以及長三角地區的部分外國語學校，共計參賽選手170多名。

“共立杯”大中學生日語演講比賽已成功舉辦了六屆。本屆比賽的規模和影響均超出往年。由日本共立獎學財團出資，上海市甘泉外國語中學具體承辦的此項賽事，對於提高學生的日語運用能力，加強

中日文化交流，深化國際理解教育有着十分積極的意義。

以“日語見長，多語發展”為辦學特色的甘泉外國語中學籌備這樣一項活動，體現了學校先進的國際辦學理念、較強的整體辦學水平和良好的國際聲譽。該校選派的參賽選手在比賽中也嶄露頭角、脫穎而出。在中國的基礎教育不斷地走向國際化的今天，這一賽事已不僅僅是語言綜合能力的比賽，更是為學生將來的可持續發展，成為“有教養的、有競爭力的、有個性、有國際視野的現代人”提供了廣闊的舞臺。

最后，在眾多優秀的參賽選手中評選出獲獎的高中生、大學生共8名，赴日本進行免費考察活動。這項比賽為有志于掌握日語、研究日本文化、推動中日友好的中國學生們提供了展示自我、拓展視野、提升內涵的平臺和契機。



●圖為獲得優勝的8名學生（前排）與主辦方的合影。

東方時報 2008/10/23 日本語訊

上海甘泉外國語學校にて行われた 第6回“共立杯”中国学生日本語スピーチコンテスト成功

【本紙記者／王旭東報道】

2008年度 第6回共立杯（大学生と高校生による日本語スピーチコンテスト）が10月19日に上海市甘泉外国語中学校にて行われました。このコンテストは、日本文部科学省、日本共立国際交流奨学財団、在上海日本国総領事館、上海市教育委員会、そして上海市普陀区教育局など多大な協力を受け行われました。

この日本語スピーチコンテストの参加対象者は、中国長江デルタ地域で日本語を勉強している大学生と高校生で、上海交通大学・上海外国語大学など9つの大学及び長江デルタ地域にある外国語学校、合計170名あまりの学生たちが参加しました。

毎年実施される“共立杯”は今年も成功をおさめ6回目を迎えました。今回のコンテストの規模と影響は、例年を上回り過去最大のものとなりました。日本共立国際交流奨学財団の出資のもと上海市甘泉外国語中学で実施される当コンテストは、学生の日本語応用力を高め、中日文化交流と国際理解教育などを推進している点において重要な意義があるといえる。

“日語見長，多語發展”（日本語を中心に、多言語を勉強しよう）を特色とする甘泉外国語中学校で当コンテストが実施できたことは、国際的な教育理念と教育レベルが高いからであろう。参加学生の中でも、当校の学生は十分な実力を発揮し優秀な成績をおさめた。中国の教育が国際化に向けて勢いのある今日、このコンテストは、「ことば」の能力を競うだけでなく、将来日本語を勉強していく学生にとって十分な教養と競争力を養い、個性的でグローバルな視野をもった現代人に育てていくイベントとして十分な役割を果たしている。

最後に、コンテストで優秀な成績を収めた高校生・大学生、計8名が選ばれ、賞品として日本体験旅行に無料で招待されます。このコンテストで、日本語を身につけ、日本文化の研究と中日友好を志す学生に対して、自己表現力と視野を広げてもらうチャンスを与えた。

〈翻訳：共立国際交流奨学財団 宇野〉